



# 東京洲高

洲高を応援しよう  
 ～洲高魂いつまでも～

題字  
 秦莞二郎  
 (洲本高校7期生)



総会会場 霞が関ビルから国会議事堂をのぞむ



総会会場 霞が関ビル

<p>第9号          2015年9月16日          兵庫県立洲本高校          同窓会東京支部会報</p>	<p>洲本高校同窓会東京支部          事務局長 正井敏文</p>	<p>東京洲高同窓会          HP アドレス  <a href="http://www.tokyosuko.jp">http://www.tokyosuko.jp</a></p>
---	---	--

# 祖父、永田秀次郎について語る 洲高17期生 永田秀一氏

永田秀次郎(青嵐)は、明治9年、兵庫県三原郡倭文村長田で生まれる。兵庫県立姫路中学校を経て、旧制第三高等学校に入學し、俳句に親しむこととなる。判検事登用試験、弁護士試験、高等文官試験にも合格したが三高卒業後父親の要請により淡路へ戻る。

ちよūdとその折洲本中学(現洲本高校)で、教師解雇が原因で学生ストライキ(首謀者の1人に大内兵衛もいた)が起り、退職した校長に代わって弱冠26才で校長に就任。その後、内務官僚として役人生活に入る。各県の警察部長、内務部長、京都府警務部長、三重県知事、寺内内閣の内務省警保局長、貴族院議員、後藤新平東京市長(当時の助役)退任後、東京市長に就任する。

7年には陸軍事務嘱託軍政顧問としてサイゴンに赴任するが、マラリヤ、テング熱にかかり、東京に送還後、死去。67才であった。

大正12年、就任間もなく関東大震災が発生。多くの被害をもたらしたが、その後の東京の復旧、復興に努力し、現在の東京の町づくりに貢献する。その間、拓殖大学学長、第二次東京市長、初代全国ラジオ体操の会長、帝国教育会長、広田内閣の拓務大臣、阿部内閣の鉄道大臣、昭和1

「政治家永田秀次郎」がある。「政治家永田秀次郎」「俳人青嵐」「随筆家吾耻庵」「連珠(五目並べ)名人北上巖」「釣り師高田実」「タレント秀次郎」それぞれが超一流と言われた。

昭和5年2回目の東京市長に就任した秀次郎は、当時唯一のメディアだったNHKラジオに積極的に出演している。とにかく面白いと評判だった。そのころの政治家の話は堅くて難しい。それに対し秀次郎は誰にでもわかるやさしい言葉で話しかけ淡路弁を交えては笑わせてもいた。今風に言えば「なまドル(なまより)方言で話すアイドル」のはしりといえる。

捨て、本番ではあたかも思いつくままにしゃべっているかのように見せていた。「天才といわれる人ほど努力する人はいない」と周囲からいわれた。

秀次郎は、東京市長時代に喜劇の天才チャールズ・チャップリンと会っている。場所は、東京銀座の天ぷら店。そこでチャップリンは有名な台詞を残している。「昨日、あなたの映画を見ました。大変面白かった」「何という映画ですか?」「担え銃です」「ああ恥ずかしい。あれは自分にとつて一番いい作品ではない」「では、一番気に入っている映画は何ですか?」「チャップリンは即座に答えた。「ザ・ラスト

ワン!」一作ごとに命がけで作る最高の作品は、最後の作品であるべきであるというチャップリンの言葉に秀次郎は大いに感動した。

秀次郎にとつて忘れられない出来事は、やはり関東大震災であった。辞世の句として、「震災忌我に古(ふ)りゆく月日かな」とよんでいる。東京市長に就任して、5ヶ月後であった。行方不明者、死者10万人以上、猛暑で遺体の腐敗が早く、秀次郎はやむを得ず、遺体の山にガソリンをかけて合同茶毘に付すよう命じた。そのことを秀次郎は生涯忘れることができなかった。

福する国家的祝典の記念事業の一環として、東京市に第12回オリンピック大会を招致することに成功する。ところが、日本を取り巻く情勢は日中事変をはじめとして戦雲が広がり、ついに開催することを返上せざるを得なくなった。「まぼろしのオリンピック」と言われた所以がこれである。しかし、その後の東京オリンピック開催への先鞭をつけたことは間違いない、大きな足跡を残したと言えよう。

永田家近くの小高い丘に永田家先祖代々の墓がある。丘に登ると晴れた日だと慶野松原が見え、瀬戸内海を望むことができる。墓地には大きな松の木があり、そこに青嵐の思いを込めた歌碑が建てられている。「海晴れて松風清き丘の上に正しき者の墓と呼ばれむ」海は晴れ渡り風で松が揺れる丘の上で「ここに、立派な政治家、教育者、俳人、随筆家など肩書のついた人としてではなく、真に清く正しく生きてきた人が眠っているよ」と言われるような人間になりたいと、正しき道を立派に歩んだ者は、お金では買えない「財産」を後世に残す。政治とカネで国民が政治家にうんざりしている今、「人間、永田青嵐」から学ぶことは多いと思う。



総会で、祖父 秀次郎氏について語る 永田秀一氏

秀次郎は震災の翌年、市長を退いたが退職金を全部使って高野山に震災慰霊堂を建立し、3年がかりで判明した死者の名前をタイトル(淡陶タイトル)に焼き付けて永久保存した。

秀次郎のもうひとつの大きな功績は、東洋で初めて東京オリンピックピック招致を実現したということである。1940年(昭和15年)神武天皇即位2600年を祝



# 平成26年度 総会風景

東京洲高同窓会 HP <http://www.tokyosuko.jp> にも、写真満載です。



1階でお出迎え



受付準備も整いました



支部長挨拶（松下祐治、昭和40年卒）  
総会の開催です



永田秀一氏の講演に聞き入る同窓生



懇親会 乾杯！



今年も淡路島クイズ開催しました。



激論の末、回答カードをあげました



あわじ弁で、恋バナ対決！  
猛アピールの弁士の皆さん



楽しい賞品選び  
賞品提供の皆さんありがとう。



出席の皆さんです。  
なつかしの顔ありますか。



昭和 24 年～昭和 28 年卒



昭和 30 年～昭和 36 年卒





昭和 56 年～平成 12 年卒



昭和 49 年～昭和 54 年卒



昭和 37 年～昭和 40 年卒



昭和 41 年～昭和 43 年卒



昭和 45 年～昭和 47 年卒



締めくくりは合唱部のリードで校歌斉唱

意外と知らない故郷のこと。懇親会で大好評！  
「淡路島クイズ」にあなたも挑戦しませんか？

平成25年度の総会・懇親会からスタートした「淡路島クイズ」。テーブル対抗で勝者から順に賞品を選べるとあって、毎回白熱しています。クイズの内容を一部抜粋して紹介しますので、懇親会に参加されなかつた皆さんもチャレンジしてみてください！

- Q1 平成27年度からの県立高校の通学区区域の変更により、洲本高校（洲本市）と同じ学区に入るのは？
  - A 芦屋市
  - B 明石市
  - C 姫路市
- Q2 洲高OBで、漫画家の藤堂裕さんの作品「由良COLORES」の一節で（ ）に入るのは？
  - A 「（ ）とたまねぎぐれえし
  - B 「（ ）とたまねぎぐれえし
  - C 「（ ）とたまねぎぐれえし
- Q3 洲高OGで、女優のキムラ緑子さんが高校時代に入っていた部活動は？
  - A 軽音楽部

- B 華道部
- C 剣道部

Q4 どれも淡路島と同じく、らいの大きさと言われますが、最も面積が近いのは？（国土地理院・外務省データ比較）

- A 琵琶湖
- B シンガポール共和国
- C 東京都23区

Q5 淡路島在住の人気作家と作品の組み合わせで、間違っているものは？

- A 湊かなえ 『夜行観覧車』
- B 大鐘稔彦 『神様のカルテ』
- C 田島征彦 『じごくのそうべえ』

Q6 淡路島のブランド食材の名称のうち、実際に存在するものは？

- A だろぶた
- B 淡路島3年とらふぐ
- C なの花っ子

Q7 さまざまな淡路島バーガーが販売されているなか、最も高額なハンバーガーはいくら（税別）？

- A 1000円

- B 2000円
- C 3000円

Q8 淡路島の特産品のうち、国内生産割合が間違っているのは？

- A 「真珠核」 4割
- B 「線香」 7割
- C 「吹き戻し」 9割

【答えと解説】

- Q1 A（平成27年度から淡路島内の三市は、神戸市、芦屋市と同じ通学区に）
- Q2 B（洲本市由良を舞台にした作品）
- Q3 C（平成26年放送のテレビ番組「ぴったんこカン・カン」で紹介されたエピソード）
- Q4 C（淡路島は、約595.26平方キロメートル。一番近いのが、約622.99平方キロメートルの東京都23区）
- Q5 B（大鐘稔彦氏の代表作は『孤高のメス』など）
- Q6 B（天然のいかなごなど上質な食事を与えられ、福良湾で3年間かけて育てられるトラフグのこと）
- Q7 C（道の駅うずしお」の「前略、道の駅バーガー」は、淡路牛ロースステーキ250グラムが入っており、3000円でも赤字とのこと）
- Q8 A（真珠核は国内シェアの7割が淡路島で生産）

首都圏の大学や企業を訪問する未来探求東京ツアー  
在校生と同窓会東京支部が交流！

洲本高校2年生の有志が首都圏の研究施設や大学、企業などを訪問する「未来探求東京ツアー」が今年も8月5～7日の2泊3日で開催されました。

同窓会東京支部では、毎年在校生との交流会を行っており、自身が進学や仕事で東京に出て来た体験を話したり、生徒からの質問を受けたりしています。今回は、総合探求類型の生徒22人が上京。同窓会東京支部からは、津田支部長のほか、5名の役員が参加し、子どもか孫くらい歳の離れた後輩達との交流を楽しみました。

大学の野球場や味の素ナショナルトレーニングセンターを見学したそうです。これらの経験が、将来への良い刺激になることを、願ってやみません。

首都圏への進学が減少傾向にあるなかで、東京支部では首都圏の魅力を伝え、少しでも生徒の皆さんの参考になる活動が今後できればと考えています。



在校生との交流会で支部長のあいさつ

このツアーで生徒達は、東京大学や筑波学園都市を訪問。また、専攻に分かれて、理型は東京工業大学や筑波宇宙センターを、スポーツ型は筑波



ナショナルオリンピックセンターと洲高OBと一緒に



在校生、先生、役員で記念撮影



気分は高校時代！  
同窓会レポート

高校時代に戻ったように  
話が弾みました！

濱辺美佳子(平成12年卒)  
第52期生(平成12年卒)の同窓会は、平成27年1月2日、タイムアフタータイム(洲本市塩屋)で開催されました。約10年ぶりの同窓会でしたが、恩師の北原文雄先生、野口哲司先生、東年伸先生をはじめ総勢約95名が出席しました。



卒業以来の人、前回の同窓会以来の人もたくさんいましたが、話しているうちに、すぐに高校時代に引き戻され、

ついこの間まで会っていたような感覚で話が弾みました。ビンゴゲーム大会では、ビンゴになって景品を獲得した人から順に近況報告を行いました。大盛況に終わったのは、ひとえに幹事の方々の日程設定の妙と熱心な呼びかけ・企画力の賜です。どうもありがとうございました。

洲本高校同窓会 東京支部  
支部長新任のご挨拶

母校と故郷を共有できる  
貴重な集いを育みたい

津田喜人(昭和41年卒)



このたび「東京洲高会」の支部長に選任された津田と申します(正式には洲本高校同窓会東京支部ですから、会長ではなく支部長なんです)。昭和41年、洲高を卒業し横浜に、そして社会人となってからは、ずーっと東京勤め。定年を迎え時間にゆとりが出てきたところで同期からの誘

いがあり、東京洲高会役員会に顔を出すようになりました。会社勤めの現役の頃は、洲高同窓会と言ってもピンとこなかったのが、シニア世代となった今、心に占める故郷や母校への思いが大きくなってきたようです。

団塊の世代である昭和41年卒は、年1回の東京同期会に15名前後が集まります。「同期会があれば、期を超えた同窓会は不要」と言う声も聞かれますが、東京洲高会では逆に期を超えて母校と故郷を共有できる集いが毎年開かれており、そこに大きな意義があるとと思っています。また、我々のように東京洲高会での再会や交流をきっかけに、同期会が始まることもあるのです。

東京洲高会には、シニア世代だけではなく、あらゆる世代の洲高卒業生が母校と故郷を共有できる楽しい集いを毎年開催しています。私は、いつまでもこの集いが続けられることを願っています。また、ちよっぴりでも母校と故郷の発展に寄与できるように活動を充実させていきたいとも思っています。

ぜひ、皆さんのご意見をお聞かせください。そして、年に一度の総会にもお越しください。役員一同、お待ちしております。

事務局からひとこと  
東京支部の活動とは？

総会・懇親会の開催、  
在校生の東京視察にも協力

正井敏文(昭和43年卒)

母校洲高は、100年以上の歴史ある伝統校ですが、同窓会東京支部は、昨年10周年を迎えたばかりの新しい組織です。

東京近郊在住約1000人の会員に、洲高、故郷への愛着を深めてもらおうと、総会・懇親会を開催。また、会報「東京洲高」を発行しています。

その準備に、年6回の役員会を実施しており、役員は昭和40年卒から平成12年卒までの幅広い世代の19名で構成され、総会・懇親会に出席された皆様に楽しく、喜んで頂けるよう、また、興味を引く誌面作りにと議論を重ねる毎回です。限られた時間での会合であり、場所を会議室から移し、ビール片手での議論も珍しくありません。本校では、今年で4年目になる「未来探求東京ツアー」があり、夏休みに在校2年生20数名が来京。役員による企業見学の受け入れ、懇親会での情報交流を図っています。このように、母校とOB、



役員会風景

OGの「絆」を大切にしたいとの強い思いで活動しているのが、同窓会東京支部です。活動にご興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

役員紹介

★新役員

- 支部長 津田喜人 ・昭41卒
  - 副支部長 古池建一 ・昭40卒
  - 副支部長 榎本裕子 ・昭41卒
  - 会計監査 正井敏文 ・昭43卒
  - 事務局長 岡坂久隆 ・昭49卒
  - 会計監査 岡坂久隆 ・昭49卒
- 【幹事】
- ★富田メイ子 ・昭41卒
  - 総会責任者 中野英男 ・昭43卒
  - 会計責任者 橋本 満 ・昭45卒
  - ★坂本裕子 ・昭45卒
  - 青木千代 ・昭46卒
  - 坂本敦子 ・昭46卒
  - 原田佐紀子 ・昭46卒
  - 事務局長補 納 新二 ・昭47卒
  - 事務局長補 溝上卓也 ・昭50卒
  - 会報担当者 米野雅文 ・昭54卒
  - 東 陸治 ・昭57卒
  - 会報担当補 伊藤美喜 ・昭57卒
  - 会計責任者補 奥野恵正 ・平元卒
  - 濱辺美佳子 ・平12卒

【収入の部】	(平成25年度)	(平成26年度)	【支出の部】	(平成25年度)	(平成26年度)
科目	決算額(円)	予算額(円)	科目	決算額(円)	予算額(円)
前期繰越金	1,041,034	969,243	役員会・事務関係費	199,269	200,000
本部補助金	100,000	200,000	振込み手数料等	27,220	30,000
年会費	346,000	360,000	会報印刷費	50,715	50,000
総会費	492,000	560,000	総会費通知費用	166,978	170,000
寄付金等	85,000	50,000	総会費	602,135	768,000
その他(利息)	229	0	広告代(県人会)	10,000	10,000
収入合計	1,023,229	1,170,000	ホームページ費用	38,703	40,000
収入総計	2,064,263	2,139,243	寄付金等	0	0
			今期支出合計	1,095,020	1,268,000
			次期繰越金	969,243	871,243

☆平成二六年総会決議  
 〔一〕号議案  
 平成二五年度決算報告承認の件  
 〔二〕号議案  
 平成二六年度予算案承認の件  
 〔三〕号議案  
 年会費負担し案報告並びに承認の件

### 年会費お支払い、寄付のお願い

毎年、年会費、寄付にご協力いただき感謝申し上げます。昨年は220名の方に年会費を頂き、24名の方に寄付をいただきました。

総会、懇親会に参加できない方も東京支部の活動継続のために、年会費のお支払いにご協力をお願いします。

従来、普通会员、維持会員で会費が分かれていましたが、支部活動の財政緊迫から昨年度の総会で会費の統一が承認されました。今年度から**会費は2,000円**に統一します。この枠を超えて応援していただける方は**寄付**という形をお願い申し上げます。

近年、関東地区への進学、就職が減っており、東京支部としては、母校洲本高校の活性化のためにも関東で働く卒業生を増やしていくことが必須と考えております。微力ではございますが、このための活動を支えるためにも本支部活動の継続は必要であると考えております。

### ご存じですか？

#### 東京洲高同窓会ホームページ

同窓会東京支部では、ホームページを公開しています。総会・懇親会の情報や、過去の懇親会の写真、同期会の写真などお載せしていますので、ぜひ、ご覧ください。 <http://www.tokvosuko.jp>

#### ■同窓会レポート募集中！

首都圏在住の卒業生で同窓会（同期会）に出席された方、ホームページに写真とレポートを載せませんか？ ホームページのメニューで「連絡」をクリックしてメール添付でお送りください。お待ちしております！

## 平成 27 年度洲本高校同窓会東京支部 第 11 回 総会・懇親会開催のご案内

開催日時：平成 27 年 1 月 7 日（土）

受付：10:00 総会：11:00 懇親会：12:30

開催場所：東京霞ヶ関ビル 35 階「東海大学校友会館」、TEL:03-3581-0121

総会議事：平成 26 年度会計報告、平成 27 年度予算報告など

講演会：「淡路の文明開化と教育」

・講師：浦上雅史（うらかみ まさふみ）氏

・講師略歴：洲本高校 23 期生（昭和 46 年卒）。元淡路文化史料館館長、現在厳島神社宮司並びに日本考古学協会会員。

・講師のひとこと：幕末明治の激動期に近代淡路の先覚者たるリーダーがいました。その人の名は安倍喜平（あべきへい）と言います。安倍喜平は自ら塾を開き多くの人材を育て、近代化の道を切り開いていきます。喜平が歩んだ道は、郵便、電信局の設置、淡路新聞の発行、蒸気船の開通、紡績会社の誘致、など今日の洲本の基礎を築いたといっても過言ではありません。そして、教育改革にも深くかかわり、県立洲本中学校が生まれたのも喜平達の尽力があったからです。

淡路の福沢諭吉と称される安倍喜平という人物を通じて、淡路の近代化と洲中が生まれるまでの教育制度の変遷を皆さんと共に見ていきたいと思っております。

**懇親会**：着席でテーブルを囲み、和洋バイキングとお飲み物で懐かしい洲高青春時代を思い出し、大いに飲み、語り、楽しいひとときをみんなで過ごしましょう！ 昨年も淡路島クイズ等で、大変盛り上がりました。本年も種々手づくりの秘策を考えております。ぜひご参加ください。

**※懇親会の景品募集中！** 趣味の手作り品、宣伝したい商品などございましたら、ぜひ、事務局（表紙掲載）までご連絡をお願いいたします。

支部年会費：2,000円

総会懇親会費：8,000円（平成 22 年以降の卒業で、首都圏に在学中の学生の方は、事前申込みで無料ご招待）

出欠のお返事、および会費のお振り込みは、10月10日（土曜）までによりしくお願い申し上げます。